

品 沖繩市

第85号
令和7年5月22日



議会だより

Okinawa City Assembly News 2025

令和7年2月定例会

第100回天皇杯優勝を祈念し、キングスジャンパーで琉球ゴールデンキングスを応援！



広島東洋カープのキャンプスタートを歓迎の意を込め、カープジャンパー着用！

令和7年2月第435回沖縄市議会定例会が、2月14日から3月21日までの36日間の会期日程で開かれました。2月定例会は、令和7年度沖縄市一般会計予算ほか43件の議案等が審議されました。

市議会ホームページは
こちらから▼

主な内容

一般質問……………P2
予算審査特別委員会…P12

委員会所管事務調査……………P13
行政視察受入状況など……………P15



一般質問

令和7年2月第435回定例会における一般質問は、7日間にわたり28人の議員から市政全般にわたる諸問題について、多くの質問が行われましたが、紙面の都合により一人1項目を要約して掲載しております。

なお、詳しい内容につきましては、会議録を市立図書館、自治会事務所でごらんになるか、沖縄市議会ホームページにて会議録検索システムもご利用になれますのでご活用ください。

会議録検索システムはこちらから→



議会傍聴のご案内

沖縄市議会では、市民の皆様の生活に密着した重要な問題や課題が審議されています。

本会議場で行われる議案審議や一般質問等について傍聴できます。市政を身近に知るために議会を傍聴してみませんか？ 沖縄市議会では、年4回、2月、6月、9月、12月に定例会を開会します。



録画映像は
こちらから

その他の 主な質問

- 学校給食費助成について
- 松本地域の大雨災害について

学童クラブの待機児童について



高江洲 みどり 議員

- Q** 令和4年度142人、令和5年度153人、令和6年度148人と、3年連続で待機児童数が最多となっている。県内最多となっている現状、希望をしても入れない子供たちがこれだけいて、保護者も深刻に困っている現状を、どのように受け止めているのか伺う。
- A** こどものまち推進部長 待機児童数については、令和2年度以降、年々増加している傾向が続いています。本市の子供たちの人口自体は減少傾向ではありますが、それ以上に放課後児童クラブへのニーズの高まりに対応できずに、待機児童が増加しているものと考えています。
- Q** 沖縄市議会の議事録によると、以前にも令和5年度の待機児童数が県内最多であるという現状について、部長のほうから「重く受け止めている」という御発言があった。その後も令和6年度148人となり、県内最多の状況が3年連続となっており、本当に困っている保護者がたくさんいる。この深刻な状況について、どのように受け止めているのか伺う。
- A** こどものまち推進部長 近年待機児童が多い状況の中、県内でも1番多い状況であることは重く認識しています。今後、待機児童の解消に向けて、待機児童の現状、あるいは今後の推移などを踏まえ、関係者の意見などを聞きながら、待機児童の解消に向けて鋭意努めていきます。
- Q** 本市の待機児童数は県内41市町村の中で何番目に位置するのか伺う。
- A** こどものまち推進部長 令和6年5月現在、県内市町村のうち多いほうから1番目となっています。



録画映像は
こちらから

その他の 主な質問

- 「未来を拓くこどものまち」について
- 「こどもの貧困対策強化」について

市政継承について



屋富祖 功 議員

- Q** 継承のひとつに本格的なサークキット場建設があるが、花城市長も計画に同じ考えか伺う。
- A** 企画部長（仮称） 沖縄サークキットの整備については、平成28年度に策定した基本構想において、短期・中長期ビジョンを定めています。現在短期ビジョンに掲げるモータースポーツの認知度向上及びモータースポーツの聖地化に向け、モータースポーツマルチフィールド沖縄におけるモータースポーツの振興やオキナワモータースポーツの開催等に取り組んでいるところです。今後については短期・中長期ビジョンに基づき、取り組みを進めて行きたいと考えています。
- Q** 前市長の本格的なサークキット場建設の公約から10年経っているが、これまでの建設に向けた進捗とこれまでににかかった費用と、関わってきた職員は何人か、伺う。
- A** 企画部長 サークキット整備に関する事業については、平成26年度より開始しており、これまでサークキット場及び関連産業に関する基礎調査や基本構想の策定、コザモータースポーツフェスティバルやオキナワモータースポーツの開催、モータースポーツマルチフィールド沖縄の整備運営に取り組んでいます。令和5年度までの10年間の歳出総額は1億8,545万円となっており、事業にかかった職員人数については、人事異動等もあり、延べ15人となっています。
- Q** 本格的なサークキット場建設の実現性を伺う。
- A** 企画部長 本格的なサークキット場の実現に向け、市民、県民の機運醸成及び企業連携を深めることが重要になっています。現在サークキット整備に向けた短期ビジョンとして、モータースポーツマルチフィールド沖縄の運用及びオキナワモータースポーツにより、モータースポーツの機運を高めるとともに、自動車関連企業とのネットワーク構築を進めています。
- Q** 前市長からの継承とは、どのような政策か伺う。
- A** 企画部長 継承している施策については、プロジェクトに掲げられた観光、経済、子育て、健康、暮らしの5つの基本方針の下、沖縄アリーナを生かしたまちの活性化や沖縄観光を推進する沖縄こども国の整備をはじめ、こども医療費助成の無償化拡充や、こどもの貧困対策の充実強化等が主な取組となっています。

公園整備について



藤山 勇一 議員

Q コザ運動公園のリニューアルについて現在の取り組みを伺う。

A 経済文化部長 コザ運動公園はスポーツコンベンションシティの中核施設として、日常的な市民利用、各種イベント及びスポーツ合宿などで、アマチュアからプロスポーツまで幅広く活用されています。現在も機能の維持などに努めています。中には建設後50年以上経過している施設もあり、またアーバンスポーツなども盛り上がりを見せていることから、より一層のスポーツコンベンションの推進のため、コザ運動公園のさらなる機能向上や利便性向上などに取り組む必要があると認識しています。

Q 今後の取り組みについて伺う。

A 経済文化部長 今後については、コザ運動公園における市民利用、イベント開催及びスポーツ合宿誘致など、スポーツコンベンションのさらなる推進に向けた機能向上や利便性向上のため、コザ運動公園リニューアルの検討及び財源確保等に取り組んでいます。

Q コザ運動公園リニューアルでアーバンスポーツの施設整備を行うのか伺う。

A 経済文化部長 アーバンスポーツパーク施設整備については、コザ運動公園のリニューアルと一体的な整備に向けて取り組んでいきたいと考えています。



録画映像はこちらから

その他の主な質問

○児童生徒の放課後の居場所について
○学校体育館の空調整備について

市長選挙公約について



伊佐 強 議員

Q 「不妊治療への助成制度の創設」について伺う。

A こども未来推進部長 不妊治療については、令和4年度から保険適用へと移行され、保険適用外である先進医療とされている治療に対し、さらなる利用者の負担軽減に向け、県の助成事業や他市町村の取組も参考に、不妊治療への助成制度の創設に向けた準備を進めていきます。

Q 「大雨による冠水・浸水対策強化」の内容を伺う。

A 建設部参事 これまで本市では梅雨時期や台風等で大雨の予測が可能な場合、過去に冠水が起きた箇所について、あらかじめ道路パトロールを行い、集水ますやグレーチングに草木や土砂等による詰まりがないか確認を行っているところです。大雨冠水・浸水対策の強化について、より具体的な取組については、局地的なゲリラ豪雨などによる道路冠水対策として、これまでの道路冠水箇所の道路パトロール等の頻度を梅雨時期や台風前だけではなく、毎月行うこととし、対策をより強化していきたいと考えています。また日頃より道路愛護団体やロードパートナーズなどへの集水ますなどの清掃の呼びかけや、市民の皆様に対して、市のホームページなどにより清掃の御協力をお願いしていくとともに、県道で道路冠水が起きた箇所についても迅速な対応と適切な道路維持管理について、沖縄県へ働きかけていきます。

Q 上下水道部長 下水道事業による浸水対策については、浸水被害のリスクが高い地域を中心に、新規雨水管渠の整備を進めています。浸水対策の強化については、地域課題で市長公約でもあります。浸水被害の軽減に向け、整備に伴う予算の確保はもとより、施設の清掃やしゅんせつ作業など、雨水管渠の排水能力が最大限発揮できるよう、効率的な維持管理を実施します。



録画映像はこちらから

その他の主な質問

○Park・PFI事業について
○不登校について

諸見小学校の校舎老朽化およびグラウンド整備について



仲宗根 誠 議員

Q 老朽化における被害を把握しているか伺う。

A 教育部長 諸見小学校の老朽化の状況については、施設の定期点検や学校からの報告を受けており、ひさしや外壁のコンクリート剥離、トイレ下部のコンクリート脱落、それに伴う天井の落下などを把握しています。

Q 今後の対策について伺う。

A 教育部長 対策については、点検結果や学校からの報告を受けた危険箇所の早期修繕に対応していきます。

Q 抜本的な解決策として、建替えの計画について伺う。

A 教育部長 老朽化が進んでいる学校施設の対応手法については、沖縄市学校施設長寿命化計画に基づいて取り組んでいるところです。諸見小学校については、耐力度調査などの結果を踏まえ検討します。

Q 耐力度調査はいくつする予定なのか。また、調査の結果により建て替え、もしくは長寿命化を判断すると考えるが、かなり昔に建てられた学校施設の寿命化は難しいという話を聞いたことがあつた。その見解を伺う。

A 教育部長 諸見小学校が耐力度調査については、令和7年度の予算で執行予定です。また、古い建物の長寿命化についての見解ですが、できるだけ新しい状態から長寿命化を始めたほうがより効果的であると言われており、耐力度調査の結果を踏まえて、どちらを選択するか今後検討を行います。

Q グラウンド整備について抜本的な改良が必要と考えるが見解を伺う。

A 教育部長 諸見小学校のグラウンドは老朽化の影響もあり、雨水排水機能などが低下しています。現在部分的な修繕を行っていますが、対応しているところですが、今後グラウンドの大規模な対策については、まずは校舎の老朽化対策を行い、その後に取組を進めていきます。



録画映像はこちらから

その他の主な質問

○花城市長の基本的な方針について
○大雨被害について

第二期沖縄市子ども・子育て支援事業計画について



録画映像はこちらから

その他の質問

○乳幼児の命と健康を守るための寄り添い支援体制について
○産後ケア事業について



新里 和也 議員

- A** 年でのどのような調査・研究を行ったのか伺う。
Q こどものまち推進部長 保育士の定着率向上に向けた調査については、例年開催している保育施設等就職説明会において、求職者にアンケートを行っている。また第三期沖縄市子ども・子育て支援事業計画にかかるニーズ調査として、沖縄市内の潜在保育士を含む、登録保育士1,460人にに対し、令和5年度に保育士アンケートを実施しています。
- A** 処遇改善のためにどのような施策を令和2年から令和6年で行ったのか、伺う。
Q こどものまち推進部長 処遇改善に向けた取り組みとして、人事院勧告を踏まえた国家公務員の給与改定に伴う保育士等の処遇改善において、一定額の賃金の改善を図る事業として、保育体制強化事業においては、保育補助者や保育支援員を配置することによる保育士の業務負担軽減の取り組み、また保育士確保対策事業においては、年休・休憩・産休の取得を促進するための加配保育士に対する支援を行うとともに、保育士の正規雇用を促し、保育士の処遇改善を図る事業などに取り組んでいます。
- A** 保育士の定着率が重要と考えるが、保育士の定着のための取り組みについてどのように考えているのか伺う。
Q こどものまち推進部長 保育士の定着率向上について、保育士アンケートにおいては、職場での労働環境や働き方に対する悩みなどを抱える保育士もいることから、保育士や園長の悩みへの相談や助言、また運営に対するアドバイスなどを行う専門職チームによる巡回支援などの取り組みも有効と考えており、今後検討していきます。

Q P41とP42の中に幼稚園教諭及び保育士確保の推進の今後の方向性に「定着率向上に向けた調査・研究を行うとともに、引き続き処遇改善のための施策を展開していきます」と記載があるが、令和2年から令和6

放課後児童クラブ（学童）について



録画映像はこちらから

その他の質問

○マルチフィールド沖縄の条例改正案について
○沖縄市民会館の大規模修繕について



知花 圭 議員

- A** こどものまち推進部長 放課後児童クラブについては、毎年5月に実施する調査において、登録児童数などを国へ報告しています。令和5年5月現在、1年生から3年生までの在籍児童数4,652人のうち、放課後児童クラブに登録されていない児童数は2,796人となります。また放課後児童クラブに登録されている児童数2,147人のうち、1年生から3年生までの低学年は1,856人、4年生から6年生までの高学年は291人となっています。
- Q** 毎年、待機児童が出ていますが、待機児童が出ていない学年の内訳を伺う。
A こどものまち推進部長 令和5年5月時点の待機児童数148人の学年別人数については、1年生71人、2年生40人、3年生12人、4年生14人、5年生8人、6年生3人となっています。
- A** 公営の学童と民営の学童に通っている人数を伺う。
Q こどものまち推進部長 令和5年5月現在、放課後児童健全育成事業を実施する56クラブの登録児童数は2,147人で、そのうち公営は2クラブで53人、民営は54クラブで2,094人となっています。
- A** 公営と民営で月額学童費用を伺う。
Q こどものまち推進部長 公営クラブの利用料はおやつ代込みで一律6,000円、民営クラブの利用料は7,000円から1万7,500円となっています。
- A** 民営の学童利用料は毎月1万2,000円前後の支払で、中間所得層も物価高の影響を受けているが、中間所得層に対し学童利用料を補助する考えはあるか伺う。
Q こどものまち推進部長 放課後児童クラブ利用料の支援については、児童扶養手当等を受給するひとり親家庭、生活保護世帯が補助の対象となっています。それ以外の放課後児童クラブ利用料の支払いに困窮する世帯への支援については、今後状況調査などを行い、対応を検討していきます。

Q 第434回定例会において毎年150人前後の待機児童が出ていることは明らかであるが、小学校1年生から3年生の低学年で学童に入園できていない人数は何人いるのか。また低学年と高学年に分けて学童に入っている人数を伺う。

安慶田土地区画整理事業の施行期間長期化による影響について



録画映像はこちらから

その他の質問

○沖縄市民会館耐震補強工事について
○応急給水拠点の整備について



眞榮城 健二 議員

- A** 事業の第一工区内における公園計画について伺う。
Q 建設部参事 地域の防災拠点として避難場所指定されている安慶田自治会館に近接する場所に広さ約2,700平方メートルの街区公園を配置する計画となっています。現在の進捗状況は、公園用地の移転補償はなっていますが、当該地区が既成市街地であり、道路や下水道等のインフラ整備に伴う資材置き場の確保が困難となっていることから、当面の間、インフラ整備のために使用する予定です。今後、公園整備に向けては地域との様々な意見を交わしながら、意向を踏まえ公園整備を進めていきます。
- A** 建設部参事 令和7年度の主な取組としては、安慶田中線の無電柱化に向けた電線共同溝詳細設計業務や、物件補償に向けた建物調査等の業務委託等、建物や借家人等の物件補償を11件実施していきます。また令和6年度から事業費の一部を繰越しており、道路詳細設計等の委託業務と建物や借家人の物件補償7件を実施していきます。
- A** 令和7年度の事業計画を伺う。
Q 建設部参事 令和7年度の事業計画は、安慶田土地区画整理事業と並行し、汚水及び雨水管渠の整備を進めています。汚水管渠の整備は総延長3,240メートル、硬質塩化ビニール管、口径200ミリを計画しています。また雨水管渠の整備は総延長約532メートル、鉄筋コンクリート管最小口径600ミリ、最大口径1,350ミリを計画しています。当該雨水施設の整備は、近年の気象の変化に伴う降雨の影響で浸水被害も発生していることから、一部区間では前倒しで工事を進めています。全体的な整備については土地区画整理事業の進捗に合わせ、整備を進めていきます。
- A** 上下水道部長 下水道事業においては、安慶田土地区画整理事業と並行し、汚水及び雨水管渠の整備を進めています。汚水管渠の整備は総延長3,240メートル、硬質塩化ビニール管、口径200ミリを計画しています。また雨水管渠の整備は総延長約532メートル、鉄筋コンクリート管最小口径600ミリ、最大口径1,350ミリを計画しています。当該雨水施設の整備は、近年の気象の変化に伴う降雨の影響で浸水被害も発生していることから、一部区間では前倒しで工事を進めています。全体的な整備については土地区画整理事業の進捗に合わせ、整備を進めていきます。
- Q** 下水道関係等はどのようなインフラ等を考えているのか伺う。
A 上下水道部長 下水道事業においては、安慶田土地区画整理事業と並行し、汚水及び雨水管渠の整備を進めています。汚水管渠の整備は総延長3,240メートル、硬質塩化ビニール管、口径200ミリを計画しています。また雨水管渠の整備は総延長約532メートル、鉄筋コンクリート管最小口径600ミリ、最大口径1,350ミリを計画しています。当該雨水施設の整備は、近年の気象の変化に伴う降雨の影響で浸水被害も発生していることから、一部区間では前倒しで工事を進めています。全体的な整備については土地区画整理事業の進捗に合わせ、整備を進めていきます。
- A** 事業の効率化を図る上でインフラ整備は重要と考えるが、促進に向けて見解を伺う。
Q 建設部参事 安慶田土地区画整理事業は、昭和36年度の都市計画決定から平成21年度に事業計画認可を受け、平成27年度に最初の仮換地指定を皮切りに、現在4工区まで仮換地指定を行い、安慶田中線沿いの物件補償を優先的に進め、令和6年12月末現在、補償対象物件172件中54件、率にして約31%の物件補償と建物移転が完了しています。今後とも事業の進捗に向け、皆様方からの御理解・御協力もいただきながら、事業の早期完了に向け取り組んでいきます。

公民館建設事業について



小谷 良博 議員

を確認しています。

自治会から公民館の建て替え、補修工事などの要請はあったのか伺う。

市民部長 学習等供用施設等の建て替えについては、松本、知花、登川自治会より要請を受けており、建て替えに向けて取り組んでいます。また、学習等供用施設等の補修や改修工事については、令和4年度に4件、令和5年度に4件、令和6年度に3件を実施しており、令和7年度は5件の要望があり、そのうち4件を実施する予定となっています。

市は公民館の建て替え、補修工事の順序等も計画しているのか伺う。

市民部長 建て替え更新時期に近づき、老朽化が進んでいる施設があることは認識しています。今後実態調査等を含め、取り組んでいきます。また、補修工事の順序について、令和7年度の要望が多く、今後同様に補修要望が多くなることが予想されるため、今後補修計画としての策定を検討していきます。

自治会では土地の借地、公民館を借家しているところもある。沖縄市は今後どのような対応を考えているのか伺う。

市民部長 今年度7月に策定した自治会との協働に向けた基本方針に基づき、地元の負担軽減を図れるよう借地や借家の問題も含め、現在各自治会への聞き取りを行い、現状の把握及び調査研究を進めているところです。

公民館のひび割れ、剥離等の現況調査は行ったのか伺う。

市民部長 令和2年度に学習等供用施設等のひび割れや剥離などの現況調査を行い、施設の健全度



録画映像はこちらから

その他の質問

○保安灯電気料金無償化について
○新規就農者、後継者支援について

沖縄県道20号線（胡屋泡瀬線）について



金城 由美 議員

高原十字路までの拡幅工事について、進捗状況及び供用開始の時期を伺う。

建設部参事 県中部土木事務所に確認したところ、県道20号線（胡屋泡瀬線）

の高原工区における高原交差点部分の箇所については、令和6年度中の都市計画変更の告示に向け、現在その手続等に取り組んでいると伺っています。なお、供用開始時期については、今後用地取得や大規模橋梁の新設等が残っているため、現時点では明確にお示しできないと伺っています。

供用開始に向けて、県に要請等を行う計画があるのか伺う。

建設部参事 県道20号線（高原交差点）改良については、現在、県において都市計画法上の手続が進められ、計画どおりに進んでいると伺っています。本市はこれまで沖縄県土木建築部と中部市町村会との行政懇談会や中部土木事務所事業説明及び意見交換会などにおいて、県道20号線（胡屋泡瀬線）の早期整備を要望してきました。今後の県事業の進捗を注視しながら円滑に事業が進むよう県と連携していくとともに、必要に応じて要請等を行っていきます。

拡幅工事により大里の拝所「御願小森（ウガングワームイ）」という拝所が、移転をすることになっているが、その件に関して市としてどのように考えているのか伺う。

建設部参事 当該事業に関する地域からの御意見、御要望などを適宜沖縄県へお伝えしていくとともに、事業主体である沖縄県には地権者等の関係者の皆様に対し、丁寧な説明や情報提供に努めていただきたいと考えています。



録画映像はこちらから

その他の質問

○昭和60年に具体的な検討がはじまった東部海浜開発事業について
○大里・東桃原の公園用地確保について

準要保護について



稲嶺 隆之 議員

準要保護の児童生徒数を伺う。

指導部長 令和5年度実績で小学校2,625人、中学校1,452人となっています。

援助費について、就学援助費目はどういうものがあるのか伺う。

指導部長 準要保護の援助費目は、学用品費や通学用品費、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、学校給食費、学校徴収金、オンライン学習通信費などがあります。

1人当たりの平均援助額を伺う。

指導部長 令和5年度実績において、1年間で小学生が約7万円、中学生が約11万円となっています。

要保護世帯との違いを伺う。

指導部長 経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費などの援助を行う就学援助制度は、大きく要保護世帯と準要保護世帯に分けられます。要保護世帯とは、生活保護法に基づく教育扶助受給者となり、就学援助による援助費目は修学旅行費となっています。また、準要保護世帯とは、生活保護の停止を受けた者や非課税世帯、児童扶養手当を受給している者、世帯の収入が基準額未満の者となっており、先ほど答弁した学用品費などが援助費目となります。要保護と準要保護では、認定基準や援助費目に違いがあります。

就学援助の認定基準はどのように決めるのか伺う。

指導部長 就学援助の根拠となる学校教育法について、経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対しては、市町村は必要な援助を与えなければならないと定められていることから、各市町村教育委員会がその基準を定めています。

本市の教育委員会が決められていることだが、他市とはどのような違いがあるのか伺う。

指導部長 令和6年度に県が行った調査によると、県内の準要保護の認定基準はおおむね同じとなっていますが、児童扶養手当の受給者を就学援助認定者とする基準は県内11市で本市を含め、2市のみで、その点では、ひとり親世帯を広く援助できているものと考えています。



録画映像はこちらから

その他の質問

○生活保護について
○火葬場整備について

本市大里美浦線、かなさ沖縄から東へ、大里古謝線に繋がる、市道について



録画映像は
こちらから

その他の
主な質問

○美里高校正門通り、電線地中埋設について
○本市の至る所に見られる放置車両について



仲吉 信勝 議員

- A 建設部参事** 当該路線については、現時点で歩道整備計画はありませんが、グリーンベルト設置によるドライバーへの注意喚起を促す交通安全対策を行っています。現場を確認したところ、外側線が消えている状況を確認していますので、令和7年度予算で引き直しを行う予定です。
- Q** 車道に色をつけてスクールゾーンの表示やスピード落とせといった速度制限の標示を設置できないか伺う。
- A 建設部参事** 路面標示によるスピード抑制対策については、毎年夏休み期間中に実施している地域、自治会や学校、警察、道路管理者、関係部署からなる通学路交通安全合同点検を通して検討します。
- A 市民部長** 当該場所へのスクールゾーン表示については、小学校や自治会等へ情報共有を行いながら検討していきます。また、毎年行われる通学路交通安全合同点検にて、関係機関と共有していきます。
- Q** 歩行者と車両との接触事故を防ぐために、安全対策としてガードレールやポストコーンなどを設置できないか伺う。
- A 建設部参事** ガードレールなどの防護柵設置については、今後、沿線住民の方々からの御意見や通学路交通安全合同点検を通して検討します。

Q 当該道路は、車両の交通量が非常に多くある。通学路にもなっているが道幅も狭く、歩道も整備されていない。歩道を設置することができないか伺う。

保育園と幼稚園の給食提供日数の違いについて



録画映像は
こちらから

その他の
主な質問

○終戦から80年。米軍関係による市民への被害、市の取り組みについて
○「沖縄市施設駐車使用料金の見直し」時期について



喜友名 秀樹 議員

- A** 午後6時以降の預かり保育の子供たちも5月から給食開始になるのか伺う。
- Q** こどものまち推進部長 預かり保育の児童についても同じく5月からの給食開始となり、それまではお弁当を持参していただいています。
- A** 週1回（毎週木曜日）を弁当の日としているのは保護者からの希望の下、そういう経緯になっているのか伺う。
- Q** こどものまち推進部長 令和4年度に保護者アンケートを行っており、幼稚園の弁当と給食について、714人中480人、約67.2%の方から回答を得ています。回答のうち、弁当の日の頻度については、週1回が望ましい173人、36.0%。週2回が望ましい5人、1%。月1回が望ましい177人、36.9%。月2回が望ましい71人、14.8%。弁当の日がなし47人、9.8%。未回答・その他7人、1.5%となっています。
- Q** 預かり保育を利用している保護者の多くはひとり親、共働き世帯であり、弁当作りの負担は大きい。週1回の弁当を月1回に見直すことは、子供たちの環境も保育園と幼稚園が平等になり、保護者の負担を減らすことができると考えるが見解を伺う。
- A** こどものまち推進部長 市民が幼稚園に求めるサービスについては、幼児教育はもとより給食や弁当、給食費などについてもそれぞれの家庭事情や考えなどから様々な意見やニーズがあります。また、幼稚園給食については、共働き世帯の増加や保護者の負担軽減など時代のニーズに応じて対応していく必要があると考えます。幼稚園の給食提供日数については、保護者の理解を得ることが何より重要であることから、今後アンケート等により意見やニーズを把握した上で関係部とも調整し、よりよい方向に進めていきたいと考えています。

Q 幼稚園の給食提供について、毎年度5月から翌年3月までとしている経緯について伺う。

A こどものまち推進部長 幼稚園には家庭保育からすぐに入園した子も多いことから、園に慣れる期間を考慮し、4月はお昼前後までの受け入れ時間となっている。

不適正な多頭飼育対策に係る本市の状況について



録画映像は
こちらから

その他の
主な質問

○改正児童福祉法について



諸見里 宏美 議員

- A** 多頭飼育に関する動物愛護管理（部局または係）が抱えている課題について伺う。
- Q** 市民部長 課題としては、動物の引き取りや譲渡を行う場合は、飼い主が動物の所有権を放棄することが必要条件になりますが、動物に強く執着している場合、所有権放棄について拒絶する場合もあり、所有権放棄に対する飼い主からの同意についての課題があります。また多頭飼育の状況調査時において、飼い主が状況調査を強く拒絶する場合において、調査不能になるなどの課題もあります。多頭飼育に関する問題は解決することが困難な事例がほとんどであり、適正指導後においても繰り返し不適正な多頭飼育を行うこともあるため、何度も指導を行いながら改善に向け取り組んでいるところです。
- Q** 本市が把握している不適切な多頭飼育の個別事例について伺う。
- A** 市民部長 個別事例としては、室内において数十匹の猫の多頭飼育や大型犬種の多頭飼育などの対応事例があり、沖縄県動物愛護管理センターや関係部署と連携して対応に取り組んでいます。

Q 多頭飼育に対する対応の状況について伺う。

A 市民部長 市民等より多頭飼育に関する苦情等が寄せられた場合、現場確認を行い、不妊去勢手術の対策など適正な管理に

沖縄市コザ運動公園立体駐車場について



録画映像はこちらから

その他の質問
その主な質問

○沖縄アリーナのネーミングライツ募集について
○教育行政について



桑江 直哉 議員

ています。

指定管理料の考え方について伺う。

企画部長 指定管理料については、令和8年度当初予算にて予算計上を予定しています。しかしながら、収益が見込める施設であることを鑑みずと、期間内において指定管理者との調整を図り、最終的には指定管理料を支出しない独立採算での運営を目指していくことを考えています。

指定管理料の算出根拠について伺う。

企画部長 現時点で指定管理料は、令和6年度に直営で行った管理運営費1,855万9,000円をベースに考えています。

独立採算で行うとのことだが、収益の見込みについて伺う。

企画部長 コザ運動公園立体駐車場の令和6年度の借用実績により、年間借用日数を約80日程度と見込んでいます。収益見込みについては、指定管理者との間で駐車料金を協議していくこととしていますが、仮に1台当たり1,000円と設定した場合は、1,000円掛ける1,000台掛ける80日で年間8,000万円の収入予測となっています。

一部運営の利益の基金積立についてどのように考えているのか伺う。

企画部長 施設運営による収益については、運用を通して収益見込みを精査し、収益化が図れる際には基金への積立を行ない、維持管理に係る財源とすることを検討しています。

基金の積立目標、どういう場合に基金を活用するのか伺う。

企画部長 基金の積立で目標については、今後実際の運用を通して収益を精査することで検討していきたいと考えています。また、基金の活用方法については、立体駐車場の機能維持や美観の保持、大規模修繕などの維持管理の財源として活用を考えています。

指定管理の期間について伺う。

企画部長 沖縄市コザ運動公園立体駐車場の指定管理については、条例の公布をもって指定管理公募を令和7年度に行い、指定管理者による管理運営を令和8年度から開始し、令和12年度までの5年間として

浸水対策事業について



録画映像はこちらから

その他の質問
その主な質問

○工芸によるまちづくりについて
○パークゴルフ場整備について



桑野比 和光 議員

令和6年度の実施内容（場所・予算総額）、令和7年度以降の予定（場所・予算総額）はどのようになっているのか伺う。

上下水道部長 令和6年度における浸水対策事業については、雨水事業費として当初予算額で5億8,437万4,000円、追加補正額で2億6,644万3,000円、合計額26億5,081万7,000円の事業費となっており、整備箇所については安慶田、室川、宮里、古謝地区などの整備を行っています。主な事業内容は、磁気探索等の業務委託や管の敷設工事などを実施しています。また、令和7年度については、当初予算額として5億8,855万4,000円を計上しており、整備箇所については引き続き安慶田、室川、宮里、古謝地区などを予定しています。整備の概要については、令和6年度と同様、磁気探索業務及び管敷設工事などを予定しています。

1月24日に発生した松本・明道地区の冠水・浸水被害について、当地区はうるま市からの雨水流入範囲が多いと思うが、どの程度か。また、発生の原因を伺う。

上下水道部長 県道85号線沿線の松本地区については、道路下に流域面積299ヘクタールを対象としたボックスカルバートを整備しており、そのうち、うるま市からの流入量118ヘクタールの約48%の雨水の流入を考慮しています。今回の当該地区における冠水・浸水被害の原因については、ですが、当時、消防本部及び下水道課の職員による現場対応時に消防職員が道路グレーチング蓋周辺の草木等を除去した際、水位が低下したことから、市所管の雨水管渠には一定程度の排水能力はあったと推察しており、今回の被害については草木等の目詰まりが一つの大きな要因になったのではないかと考えています。しかしながら、近年における雨の降り方が局地化、集中化、激甚化しており、整備計画降雨である1時間当たり87ミリ以上の雨が降ることも想定されるため、施設の上流域に位置するうるま市においても雨水排水を抑制する対策を今後要望していく必要があると考えています。

民生委員について



録画映像はこちらから

その他の質問
その主な質問

○大雨に伴う対策本部の設置について
○自治会を活かしたまちづくりについて



桑江 研 議員

民生委員設置の意義と役割について伺う。

健康福祉部長 民生委員・児童委員は厚生労働大臣から委嘱を受けた特別職の地方公務員であり、無報酬のボランティアとして地域社会に貢献をいただいています。その設置の意義及び役割は、地域住民の生活や福祉全般に関する相談・援助活動を通じて、社会福祉の増進を図ることにあり、身近な相談役として住民の相談に乗り、必要に応じて支援機関を紹介するなど、地域のつなぎ役として活動をしています。また、児童の登下校時の声かけやパトロール活動も行っており、様々な活動が地域住民同士のつながりの強化につながっています。

本市の民生委員の定員数と充足率を伺う。

健康福祉部長 定数については、民生委員法の配置基準に基づき、沖縄県民生委員の定数を定める条例の中で定められています。本市の民生委員・児童委員の定数は200人となっており、令和7年1月1日現在の民生委員の数は160人、充足率は80%となっています。

成り手不足を解決する取組について伺う。

健康福祉部長 取組として、本市のホームページで民生委員制度の周知をしているほか、市の退職者に対し募集を呼びかけています。また、毎年5月12日の民生委員・児童委員の日により、所口ピーにて活動強化週間パネル展を開催し、民生委員制度の重要性や役割を紹介するとともに、募集を行っています。さらに令和6年度沖縄県が実施した民生委員・児童委員広報活動事業の一環として、ラジオ番組や商業施設で開催されたトークショーに本市の民生委員が出演し、周知広報活動を行いました。そうしたイベントなどにより、多くの市民に民生委員の活動を知っていただく機会を提供しているほか、民生委員自身が住んでいる地区の自治会やPTAなどへ出向き、直接成り手の募集を行うなど積極的な周知に努めています。

道路安全行政について



録画映像は
こちらから

その他の 主な質問

○災害時の避難所の運営について
○福祉避難所の設置状況について



阿多利 修 議員

A 上下水道部長 汚水施設に起因する事故防止対策については、維持管理業務委託による定期的な点検や整備に加え、管路施設において詰まりや臭気等が発生した際にマンホールや管路、ますの調査はもとより、発生箇所周辺についても調査を実施し、腐食環境が著しい箇所においては定期的な鉄蓋の更新などを実施しています。また、ポンプ場等においては、日々の点検に加え、整備から40年余り経過した施設もあることから、定期的に主要部品や消耗品等を交換し、施設の機能維持に努めています。さらに施設の修繕及び敷設更新については、平成29年度に策定した沖縄市ストックマネジメント計画に基づき、計画的な点検整備や更新を行うことで施設管理の最適化に取り組んでいます。

Q 老朽化した下水道管の調査や点検など対策について伺う。

A 上下水道部長 水道管に起因する事故防止対策については、漏水の防止及び漏水の早期発見を行うことにより陥没等の防止対策を行っています。まず漏水の防止対策については、水道管に過度な負担をかけないよう必要箇所には減圧弁等を設置し、適正水圧を維持しながら漏水の防止に取り組んでいるほか、老朽管の更新については、平成25年3月に策定した沖縄市水道施設整備事業計画に基づき、計画的な管路の更新を行っているところです。また、漏水の早期発見については、夜間最小流量の変動等を監視することで漏水箇所を地域ごとに把握することが可能となっており、マッピングシステムと併用し、管路の位置や布設情報、漏水履歴等を確認しながら漏水箇所の早期発見、早期修繕に努めています。

Q 老朽化した水道管の調査や点検など対策について伺う。

市長の市政運営について



録画映像は
こちらから

その他の 主な質問

○自主財源確保に向けた取り組みについて
○障害福祉サービスの利用手続きについて



町田 裕介 議員

A 市長 新年度からの市政運営については、市民の皆様が沖縄市を誇りに思えるように、一つ一つの事業に職員一丸となって取り組み、沖縄市をさらに発展させていきます。なお、現在のガソリン代やお米をはじめとする食料品など、物価高騰対策としては全ての市民に1人当たり4,000円の商品券を配布する。これには最優先で取り組みたいと考えています。さらに子育て・教育・医療・福祉に係る施策についても、社会情勢や市民への影響も鑑みながら市政運営に取り組んでいきたいと思っています。

Q 新年度からどのような市政運営を行っていく方針であるか伺う。

A 市長 国政及び県政との連携については、様々な場面で重要であると考えています。インフラ整備や施設整備等のハード事業のみならず、市民の生活を支えるソフト事業に係る財源などに関しても、これまでの経験を生かしながら連携を図っていききたいと考えています。

Q これまで国会議員とも連携を取りながら、県議会議員または自民党県連幹事長として、前市長から国や県に多くの要望やご相談等があったかと思うが、これまでの経験を活かし、今後どのように国政及び県政との連携をしていくのか伺う。

本市で行われた介護に関する入門的研修について



録画映像は
こちらから

その他の 主な質問

○介護等のお仕事就職相談会について
○第433回定例会の不適切指導についてのマニュアル作成について



千葉 綾子 議員

A 健康福祉部長 参加者からは、「働きたいと意欲が湧いてきた」、「初めてのことで不安だが、楽しく学べてよかった」、「高齢化社会で介護を必要としている高齢者が増えていく中で、本研修が自身の将来の暮らしの参考になった」などの感想がありました。

今後の取り組みについて伺う。

A 健康福祉部長 介護分野の人材不足に対する取組として、介護に関する入門的研修を実施することで、これまで介護分野へ興味があった方が介護に関する基礎的な知識を得ることで、不安なく就労につなげることができるよう重要な事業だと考えています。今後は令和6年度の実施状況等を踏まえ、より効果的な取組を検討していききたいと考えています。

Q 参加者からどのような声があったのか伺う。

A 健康福祉部長 参加状況については、30代2人、40代1人、50代3人、60代2人、70代1人、計9人でございます。

Q 参加人数、年齢等を伺う。

A 健康福祉部長 参加状況については、30代2人、40代1人、50代3人、60代2人、70代1人、計9人でございます。

Q 研修の回数・内容について伺う。

A 健康福祉部長 介護に関する入門的研修については、介護に関心を持つ介護未経験者に対し、介護の業務に携わる上での不安を払拭するため、基本的な知識を研修することにより、介護分野への参入を促進するための研修となっています。研修時間等については、合計21時間の講習を4日に分けて実施したところです。研修の主な内容は、基礎講座として介護に関する基礎知識、介護の基本、入門講座として基本的な介護の方法や認知症の理解、安全管理などとなっています。

泡瀬自治会が取り組んでいる「サンダンカプロジェクト」について



録画映像はこちらから

その他の質問

○沖縄市循環バスのバス停の表示を「泡瀬」から「美浦」への変更の検討について
○パークゴルフ場建設に向けて、まちづくりの観点からパークゴルフの魅力について



伊禮 悟 議員

泡瀬自治会・中地雄高会長が区内をサンダンカの花で埋め尽くそうと、2024年5月に「サンダンカプロジェクト」に取り組んでいると聞いているが、本市は「サンダンカプロジェクト」へ、どのような支援を行っているか伺う。

A 市民部長 本市では、各自治会地域で誇れるものづくりや環境美化、作物栽培、収穫体験等の活動に対して最長4年間、地域ものづくり活動支援事業補助を行っております。補助額については、初年度20万円、継続の3年間は7万円となっております。今年度、泡瀬自治会が取り組んでいるサンダンカプロジェクトについても、その対象として支援を行っています。

Q 沖縄市花いっばい推進運動で、「サンダンカ」の苗木を配付しているか伺う。

A 建設部長 沖縄市花いっばい推進運動では、近年はサンダンカの配布を行っています。サンダンカについては、雑草にも強く、濃い緑の葉と鮮やかな花が特徴的で、たくさんの小花を房状につけるためボリューム感もあり、管理のしやすい植物としても人気があるものと認識をしています。

Q 「サンダンカプロジェクト」より、「サンダンカ」の苗木を調達することは可能か伺う。

A 建設部長 沖縄市花いっばい推進運動で配布する花の苗については、配布する数に対応可能な苗木等の販売業を営んでいる複数の市内業者から見積もりを徴収し、購入をしています。御提案のサンダンカプロジェクトから苗木を調達することについては、納品の数量や時期及び調達価格など、自治会と意見交換を行っていきたいと考えています。

子育て政策(放課後居場所・子育てサポートの充実)について



録画映像はこちらから

その他の質問

○観光客へのPR促進のためのSNS活用、インフルエンサー活用等の拡充検討について
○中学生のオンライン国際交流事業の拡充検討、他市の導入状況との比較について



嵩元 直萌 議員

屋内遊戯施設の整備検討について、自治会活用を含め伺う。以前より指摘しているが、児童館がない地域にとっては見守る人も箱もないという状況で、放課後の居場所として格差が生まれている状況である。建物は大変に予算と時間がかかることは認識していることから、自治会の中で子供を見守るような体制づくりや、また可動式の遊具等が置ければ、放課後の居場所の拡充、待機児童対策にも繋がるという観点で伺う。

A こどものまち推進部長 屋内遊戯施設については、雨天時や、夏場の熱中症対策としても有効であり、また児童館など見守る大人などがいることから、子供たちが安心して過ごせる場所であると考えます。屋内遊戯施設の整備については、自治会を活用するなどの検討を行い、放課後の子どもたちの居場所がより充実できるよう取り組んでいます。

Q 子育て(特にワンオペ)を頑張る方へのまちなクーポン券について、お母さんがラックスする時間、それをサポートするようなクーポンの検討について伺う。

A こどものまち推進部長 本市のサポートは、地域子育て支援センターでの子育て講座や相談、子育てサークルの開催、ファミリーサポートセンターでの保育施設への送迎や買い物支援等があります。また県は、商品の割引やサービスなど特典が受けられるおきなわ子育て応援パスポートを行っています。子育て家庭へのサポートはさまざまですが、より充実させるよう調査研究します。

Q この沖縄県のクーポンでは利用に至っていないお母さんが多くいると思っており、子どもに向き合う上でラックスする時間をサポートする重要性について見解を伺う。

A こどものまち推進部長 子育ては父母で協力し合い、負担を分かち合うことが望ましいですが、それぞれの家庭により事情が異なり、家族からの協力が得られない方がいる現状があることも認識しています。ワンオペで子育てをされている方が家事や育児により疲弊することは、子供や家庭への様々な影響が出てしまうことが危惧されるため、その負担軽減策を講じることは重要と考えており、他自治体の取り組みなど情報収集に努めています。

アウトリーチを通じた継続的支援事業について



録画映像はこちらから

その他の質問

○重層的支援体制整備事業について
○沖縄全島エイサーまつりについて



當山 全克 議員

Q アウトリーチ支援は、支援を求めることが難しい方々に寄り添うために重要だが、本市ではどのような方法で支援が必要の方を把握し、どのようにアプローチしていくのか伺う。

A 健康福祉部長 支援が必要な方を把握するために、自治会や各関係機関で開催される会議へ参加するなど、日頃から地域関係機関や自治会、民生委員・児童委員等の地域の方から、声を拾えるよう努めています。支援が必要の方及びその世帯とのつながりをつくるためにキーパーソンを介しての関わりや、会えなくてもメッセージ等を残しておくなど、本人と関わるためのきつかけづくりを継続して行っていきたいと考えています。

Q 継続的な関わりに対し、支援が途切れることのないようにするために、どのような取組を行っているのか伺う。

A 健康福祉部長 支援が途切れないようにするための取組としては、定期的に開催している支援会議において進捗管理を行い、支援が途切れないよう随時確認をしています。

Q 現在のアウトリーチを担う人材の人数とこれから必要な人数(目標数)など、人材確保について課題を伺う。

A 健康福祉部長 アウトリーチ相談員については、現在沖縄市社会福祉協議会に委託し、1人配置をしています。必要な人数については、今後の活動状況に応じて強化をしていきたいと考えています。人材確保の課題として、福祉業界全般に人材不足であることに加え、はざまの支援、複雑・複合化した課題のある方への支援のため、ノウハウの蓄積が大きな課題となっています。

Q アウトリーチ等を通じた継続的支援事業の効果とどのように評価し、今後の支援強化につなげていくのか伺う。

A 健康福祉部長 アウトリーチ等を通じた継続的支援事業については、事業が開始したばかりで評価に必要な実績が少ないのが現状です。その中でも、ひきこもりの方への伴走支援が増えたり、本人の状況やニーズを把握することで、本人に適する支援や社会参加の場につないでいくことが可能になるものと考えています。それぞれのケースに時間をかけ、信頼関係を構築していくために、必要に応じ人員体制の見直しも検討をしていきます。

沖縄市の郷土の宝獅子舞 獅子の歴史・団体・作り手について



録画映像は
こちらから

その他の 主な質問

○債権・落書き・文化・泡盛・タコス
条例制定の可能性について
○こども達の個性や可能性を伸ばすモ
ンテッソーリ教育について



撮影者：Okinawan-Lyrics

の中で豊作を願い、悪疫を払うために行わ
れるものです。沖縄市では、池原、知花、
古謝、大里、与儀、胡屋・仲宗根、諸見里
の7つの地域で現在も行われております。
獅子の作り手については少なくなっており、
市内の獅子の制作、修繕につきましましては、
本市で活動している仏像彫刻士の仲宗根正
廣氏に御協力をいただいていると聞いてお
ります。



大城 隼 議員

Q 沖縄市での獅子舞の状
況について。歴史・団体・
作り手の状況を伺う。

A 教育部長 獅子舞は、旧
暦6月から8月にかけて
の豊年祭や旧盆等の行事

市道城前センター線（越来中学校裏通り）について



録画映像は
こちらから

その他の 主な質問

○本市のスポーツ推進の取り組みや合
宿について
○西森公園の整備について

A 建設部参事 当該路線については、ガ
イドレールの補修やポットホールなど、路
面の部分補修を行ってきました。児童生
徒や地域の方々の生活道路として、交通
安全の確保の観点から、現状のアスファ
ルト舗装の老朽化に対して、現在、抜本
的な補修工事に関する予算化に向け取組
を進めています。今後補修工事に際し、
地元自治会と意見などを交わしながら取
り組んでいきます。

Q 越来小中学校の周辺は、時間帯によ
ては一方通行である。そのために市民や
地域の方々も多くこの城前センター線
を通る。学校給食センター第2調理場の給
食運搬車両もそこを通る。地域の方々の
生活道路となっており、今後の予定に
改修工事が必要と思うが、今後の予定に
ついて伺う。

A 建設部参事 城前センター線の越来中学
校裏門側については、時間帯による通行
規制、一方通行があり、児童生徒や地域
の方々が行き交う生活道路となっていま
す。これまで交通安全の確保の観点か
ら、ガイドレールの補修やポットホール
など路面の部分補修等を行ってまいり
ますが、当該路線の現状として、より安全
対策を講じていく必要があると認識してい
ます。今後とも安全性の向上に向け、ア
スファルトの剥がれと道路の修繕に取り
組んでいきます。



新屋 勝 議員

Q 越来中学校裏門近
の教会の前に少し上り
坂になっているところ
でアスファルトが剥が
れ、道路の状況が悪い
と思うが、現状を把握
しているか伺う。

令和7年2月第435回 定例会会期日程

月	日	曜	日 程	備 考
2	14	金	議 案 説 明	議案の提案、説明
	19	水	議 案 審 議	議案への質疑（委員会付託及び付託省略）、討論、採決
	20	木	特 別 委 員 会	予算審査特別委員会
	~			
	28	金	常 任 委 員 会	総務、市民経済、教育福祉、建設委員会における付託案件の審査及び所管事務調査（市民経済・建設）
3	3	月		
	4	火	特 別 委 員 会	基地に関する調査特別委員会
	5	水	特 別 委 員 会	予算審査特別委員会
	10	月	一 般 質 問	市の行政事務についての質問
	11	火		
	~			
	19	水	委 員 長 報 告 議 案 審 議	各委員会における審査報告及び採決、追加議案の提案、説明、議案の審議
	21	金		

令和 7 年度一般会計予算について

予算額 824 億 7,000 万円

原案可決



令和 7 年 2 月第 435 回定例会において、10 人の委員で構成される予算審査特別委員会が設置され、令和 7 年度沖縄市一般会計予算について、慎重に審査が行われました。委員会の審査経過及び結果について、3 月 21 日に本会議で新屋勝委員長より報告がなされ、令和 7 年度沖縄市一般会計予算が原案可決されました。

予算審査特別委員会（10 名）

委員長	新 屋 勝		副委員長	前 宮 美津子	
委 員	桑江 直哉 大城 隼	當山 全克 伊禮 悟	新里 和也 阿多利 修	知花 圭 屋富祖 功	

所 管 事 務 調 査

市民経済委員会及び建設委員会において、所管する事務についての調査を行いました。

○市民経済委員会

調査事項：ITワークプラザ、沖縄市雇用促進等施設等の視察調査



令和4年度にデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、リモートワークに最適なICT環境を備えた施設へ改修が行われたITワークプラザの現地視察を行い、担当部署との質疑・応答が行われました。また、沖縄市雇用促進等施設についても、現地視察を行い、施設の利用状況等の説明を受け、担当部署との質疑・応答が行われました。

○建設委員会

調査事項：安慶田雨水調整池に関する視察調査



大雨や台風時に比謝川、雨水幹線への雨水流入を抑制し、安慶田・照屋地区の浸水被害を軽減することを目的に整備された安慶田雨水調整池を現地視察し、担当部署との質疑・応答が行われました。

賛否の分かれた議案

議案 番号	議 案 名	議決 結果	自民党・志道会					会派令明				公明党		護憲凛の会		会派群星		みらい沖縄			日本 共産党		かがやけ会							
			小 谷 良 博	町 田 裕 介	瑞 慶 山 良 一 郎	金 城 由 美	新 屋 勝 隼	大 城 隼 誠	仲 宗 根 誠	栄 野 比 和 光	當 山 全 克	嵩 元 直 萌	伊 禮 悟	阿 多 利 修	上 地 崇	藤 山 勇 一	喜 友 名 秀 樹	知 花 圭	諸 見 里 宏 美	眞 榮 城 健 二	桑 江 直 哉	高 江 洲 み ど り		桑 江 研 強	伊 佐 浩	宮 城 隆 之	新 里 和 也	屋 富 祖 功	前 宮 美 津 子	千 葉 綾 子
議案 第 234 号	沖縄市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決 20：6	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	欠	×
議案 第 235 号	沖縄市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決 21：5	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	欠	○
議案 第 238 号	モータースポーツマルチフィールド沖縄条例の一部を改正する条例	可決 15：12	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	—	○	○	×	×	×	×
議案 第 246 号	令和 6 年度沖縄市一般会計補正予算（第 6 号）	可決 21：5	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	欠	○
議案 第 253 号	令和 7 年度沖縄市一般会計予算	可決 21：7	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×
意見書 第 15 号	マイナンバー制度の管理体制に関する意見書	否決 5：23	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○

令和 7 年 2 月第 435 回定例会において賛否があった議案について
※ ○：賛成 ×：反対 —：不在（退席含む） 欠：欠席

※議長は採決に加わりません。

沖縄市監査委員（1 名）

宮 城 浩 議 員

令和 7 年 3 月 21 日の本会議において、沖縄市監査委員に上記 1 名を選任することに同意されました。

沖縄市都市計画審議会委員（4 名）

高江洲 みどり 議員 小谷 良博 議員 嵩元 直萌 議員 諸見里 宏美 議員

沖縄市都市計画審議会委員に上記 4 名を推薦することが決定されました。

行政視察来市状況

月	日	団体名	人数	調査事項
1	15	兵庫県姫路市議会	4	東部海浜開発事業（潮乃森）について
1	20	広島県議会	5	沖縄アリーナの整備・運営について
1	21	岡山県岡山市議会	16	沖縄アリーナの概要について
1	21	大阪府大阪市会	2	沖縄アリーナについて
1	21	愛知県豊川市議会	15	スポーツ推進計画と沖縄アリーナによる地域活性化に関する取り組みについて
1	23	兵庫県姫路市議会	9	沖縄アリーナについて
1	28	北海道苫小牧市議会	4	沖縄アリーナについて

※沖縄市は、沖縄サントリー株式会社とネーミングライツパートナー契約を締結し、令和7年2月1日より、沖縄アリーナの新愛称は「沖縄サントリーアリーナ」となります。

議会活動（1月～2月）

1月		
27日～29日	全国市議会議長会基地協議会 第111回理事会・第88回総会	東京都千代田区
2月		
3日～4日	第183回沖縄県市議会議長会定期総会	石垣市
5日～7日	市議会議員共済会 第129回代議員会	東京都千代田区

一 議員辞職のお知らせ 一

報告第129号

令和7年2月3日付けで新里治利議員より辞職願が提出され、令和7年2月第435回定例会の本会議において、報告がなされました。

新里議員においては、平成22年9月より14年余りに渡り、沖縄市の発展のため沖縄市議会議員としてこれまで活動してきました。

令和7年2月第435回定例会審議結果一覧

提出者	番 号	件 名	議決月日	結 果
議 長	報告第 129 号	議員の辞職許可報告について	2 月 14 日	報 告
市 長	報告第 130 号	専決処分の報告について	2 月 19 日	報 告
〃	議案第 228 号	沖縄市コザ運動公園立体駐車場条例	3 月 21 日	原案可決
〃	議案第 229 号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	〃	〃
〃	議案第 230 号	沖縄市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例及び沖縄市税条例の一部を改正する条例	〃	〃
〃	議案第 231 号	沖縄市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び沖縄市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
〃	議案第 232 号	沖縄市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	2 月 19 日	〃
〃	議案第 233 号	沖縄市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
〃	議案第 234 号	沖縄市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
〃	議案第 235 号	沖縄市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
〃	議案第 236 号	沖縄市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	3 月 21 日	〃
〃	議案第 237 号	沖縄市学習等供用施設等条例の一部を改正する条例	〃	〃
〃	議案第 238 号	モータースポーツマルチフィールド沖縄条例の一部を改正する条例	〃	〃
〃	議案第 239 号	沖縄市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	〃	〃
〃	議案第 240 号	沖縄市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	〃	〃
〃	議案第 241 号	沖縄市児童館条例の一部を改正する条例	〃	〃
〃	議案第 242 号	(仮称) 山里自治会公民館新築工事（建築・造成）の請負契約について	〃	〃
〃	議案第 243 号	沖縄市と宜野湾市との間の火葬場整備等に関する事務の委託について	〃	〃
〃	議案第 244 号	沖縄市と北谷町との間の火葬場整備等に関する事務の委託について	〃	〃
〃	議案第 245 号	沖縄市と北中城村との間の火葬場整備等に関する事務の委託について	〃	〃
〃	議案第 246 号	令和 6 年度沖縄市一般会計補正予算（第 6 号）	2 月 19 日	〃
〃	議案第 247 号	令和 6 年度沖縄市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 4 号）	〃	〃
〃	議案第 248 号	令和 6 年度沖縄市介護保険事業特別会計補正予算（第 4 号）	〃	〃
〃	議案第 249 号	令和 6 年度沖縄市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 3 号）	〃	〃
〃	議案第 250 号	令和 6 年度沖縄市土地区画整理事業特別会計補正予算（第 3 号）	〃	〃
〃	議案第 251 号	令和 6 年度沖縄市水道事業会計補正予算（第 3 号）	〃	〃
〃	議案第 252 号	令和 6 年度沖縄市下水道事業会計補正予算（第 3 号）	〃	〃
〃	議案第 253 号	令和 7 年度沖縄市一般会計予算	3 月 21 日	〃
〃	議案第 254 号	令和 7 年度沖縄市国民健康保険事業特別会計予算	〃	〃
〃	議案第 255 号	令和 7 年度沖縄市介護保険事業特別会計予算	〃	〃
〃	議案第 256 号	令和 7 年度沖縄市後期高齢者医療事業特別会計予算	〃	〃
〃	議案第 257 号	令和 7 年度沖縄市土地区画整理事業特別会計予算	〃	〃
〃	議案第 258 号	令和 7 年度沖縄市水道事業会計予算	〃	〃
〃	議案第 259 号	令和 7 年度沖縄市下水道事業会計予算	〃	〃
〃	議案第 260 号	沖縄市国民健康保険条例の一部を改正する条例	〃	〃
〃	議案第 261 号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	〃	同 意
議 員	議案第 262 号	沖縄市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例	〃	原案可決
〃	意見書第 15 号	マイナンバー制度の管理体制に関する意見書	〃	否 決
監査委員	報告第 131 ～ 136 号	例月出納検査報告書	〃	報 告
議 長	報告第 137 号	諸般の報告	〃	〃
選 任	選任第 6 号	議会運営委員の選任について	2 月 14 日	選 任
〃	選任第 7 号	常任委員の選任について	〃	〃
〃	選任第 8 号	基地に関する調査特別委員の選任について	〃	〃



■沖縄市議会 HP



■議会中継と録画配信



■会議録検索システム